

### 3月の行事予定

3月 6日(月)	大野城環境処理センター 施設解体説に関する説明会(月の浦公民館)	19:00~
3月 10日(金)	菜の花会(2班)	10:00~
3月 11日(土)	復興の夕べ(東コミ)	
3月 12日(日)	ユニカール大会(南コミ)	
3月 13日(月)	足元気教室 ⑥	9:30~
3月 17日(金)	食改善(閉講式)	10:00~
3月 18日(土)	環境部 イエローカード作戦 新組長会	9:30~ 19:30~
3月 24日(金)	子育てサロンしゃべりばばこばこ	10:00~
3月 25日(土)	新体育委員会	19:00~
3月 26日(日)	平成の会例会	10:00~
3月 28日(火)	福祉推進委員会	10:00~

### 4月の行事予定

4月 16日(日)	月の浦区総会・合同委員会	10:00~
4月 23日(日)	平成の会・総会	10:00~
4月 25日(火)	福祉推進委員会	10:00~
4月 28日(金)	子育てサロンしゃべりばばこばこ	10:00~

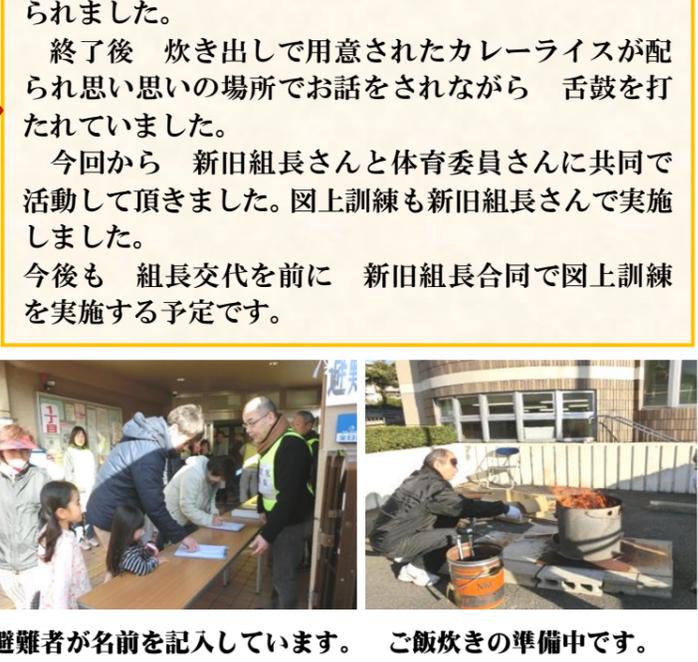
文庫開館日  
(月~金) 10時~16時  
(土) 10時30分~12時

## 月の浦区総会のお知らせ

日時：平成 29 年 4 月 16 日(日) 10 時から  
場所：月の浦公民館 2階 集会室  
※ 駐車スペースに限りがありますので、出来るだけ歩いて、お出かけ下さい。

## 防災避難訓練を実施

平成 29 年 2 月 19 日(日)  
放射冷却で朝の冷気が漂う中 月の浦区の防災避難訓練の準備が始まりました。長いサイレンが鳴り渡る中 公民館への避難が始まりました。公民館前では薪でご飯が炊かれていました。避難者は 200 名を超え逃げタオルの数は全世帯の 5 割が実施されていました。  
避難後は 災害ビデオが流され、防災についての講話と、市の災害用備蓄と各家庭での備蓄の説明が実施されました。皆さん静かに映像や説明に聞き入っておられました。  
終了後 炊き出しで用意されたカレーライスが配られ思い思いの場所でお話をされながら 舌鼓を打たれていました。  
今回から 新旧組長さんと体育委員さんに共同で活動して頂きました。図上訓練も新旧組長さんで実施しました。  
今後も 組長交代を前に 新旧組長合同で図上訓練を実施する予定です。



④ 炊き出し用カレーライスです。おいしそうですね  
⑤ 災害ビデオと、防災についての講話を聞いています。



## 1月22日 新春芸能まつり開催

冷たい風が吹く中、午後1時開催の新春芸能まつりに出演される方々が、次々に公民館に集まって来られ、予定より少し早く開会式が始まりました。  
新春を寿ぐ箏の演奏に始まり、第一部のプログラム、舞踊・カラオケ・フラダンス・キッズダンス・楽器演奏・民謡・コーラス等盛り沢山な内容が次々と披露されました。第二部は、平野中学校の和太鼓に始まり、賑やかにプログラムがスタートしました。カラオケを中心に、太極拳・相撲甚句・ダンス・銭太鼓等、日頃の練習の成果が披露されました。最後には、小さな子どもさんも混じった日向ひよつとこ踊りが客席を廻ると大きな掛け声とあたたかい声援が送られていました。  
3時間半を超えるプログラムが終了した後、ジャンケン大会が行われ、賞品の大きな大根や白菜、区長賞を勝ちとった人々の笑顔が満載でした。  
17時過ぎからは、今回初めて出演者とスタッフを中心にお疲れさん会を開催しました。皆さんのくつろいだ笑顔がとても印象的で、お疲れさん会を続けて行こうと考えました。  
出演頂いた方は、百名を超え、来場者そして来賓者を含めると、二百名をはるかに超える来館者の方々に礼申し上げます。



## 『朝一夕』コーナー ⑤ 月の浦「今昔」(下・その2)

一丁目 戸渡 俊康

大野城市は、明治22年の町村制施行により、大野村として誕生し、当時の人口は385人でした。その後、大正・昭和と移り、昭和25年に大野町となり、昭和30年代後半からの人口急増を経、昭和47年4月に大野城市として市制を施行しました。  
このようななかで、月の浦一帯も、福岡市の中心部天神より約11kmにあつて、福岡都市圏周辺の急速な都市化現象という時代の変化とともに、昭和58年に福岡都市計画事業として牛頸土地画整理組合が設立許可を受け、間もなく埋蔵文化財発掘調査や既存建物の移転等各種工事がスタートしました。  
岡山から鹿児島までの間で最大の須恵器生産を有していた地が衰退後、一千年以上続いていた山林原野や谷間の畑等とともに野生動物も生息していた自然豊かな情景が切り拓かれ、造成団地化した姿は、当地にとつて世紀の一大変革でした。  
しかし、これは時の必要性でもありました。工事は進み、平成2年2月には、月の浦一丁目・二丁目・三丁目・四丁目の住居表示が施工され、平成7年10月に竣功式が執り行われました。この段階で住宅用地の約70%に居宅等建ち、まさに、秩序ある健全で近代的な住宅街となりました。  
平成7年には、行政区が牛頸区より分区し、月の浦区(市内25番目の区)となりました。また、平成8年に、月の浦小学校が平野小学校より分離し、めでたく開校しました。その時の生徒数は71名(21学級)でした。  
ここに、月の浦区の人口推移を記しますと  
・平成7年6月末日 3807人(1085世帯)  
・平成17年6月末日 5744人(1713世帯)  
・平成28年12月末日 5727人(2049世帯)

このように、月の浦区がスタートして、昨年12月末日までに、人口は約50%増で、また、世帯数は約89%増でありますが、この11年間程では、人口は横ばいで、世帯数は継続して増加しています。  
ちなみに、旧牛頸全体の人口は  
・明治17年(当時牛頸村) 707人  
・昭和28年3月末日 1006人  
・昭和47年3月末日 3320人  
・平成元年3月末日(牛頸区他計3区) 17915人  
・平成28年12月末日(月の浦区他計7区) 30110人  
つまり、明治17年から平成28年までの132年間約42倍の人口増で、戦後の昭和28年から平成28年までの63年間で約30倍の人口増となりました。これは驚異的人口増であり、それだけの街の変革が伴ったものと言えます。  
近年の月の浦は、人口の横ばいとともに、街の落ち着きを感じます。生産工業地帯ではなく、主として住宅地としての地域性を持ち、これからは年齢とともに地域も熟した営みを要していくと思慮されます。  
振り返りますと、私たちが居を構え生活するこの地の下には、各編で述べて来ましたが古代からの流れが、時代の変遷があり、さまざまな歴史が見えて来ます。この20数年、区民の皆さまのご理解・ご協力のもと、運営に携われた方々の努力により、明るく住みやすい月の浦の今日(こんにち)に至っています。  
間もなく春を迎えます。月の浦の至る所に桜が殖(は)え、また、色々な花々が目と心を明るくしてくれ、秋には、庭に公園に錦秋の趣きを美しく和ませてくれます。四季とともに、人の輪廻、街の移り変わりに想いを馳せ、これからは皆様の健康と幸せを、また、月の浦の発展を祈念しまして筆を置きます。  
【裏面に地図・写真をのせています。ご参照下さい。】  
昨年10月から5回連載。今回が最終回となります。